

観賞魚用

動物用医薬品

メチレンブルー液

白点病 治療薬

水カビ病・尾ぐされ症状

国内初の1000mLボトルに
続き、おなじみの
250mLボトルが登場!

1000mLボトルも
よろしくね



point

1

ロングセラー

魚病治療薬として長年使われてきた、観賞魚用メチレンブルー液です。メダカなどの身近なペットから、金魚や鯉などの観賞魚まで、幅広くお使いいただけます。

point

2

計量カップ

250mLボトル 計量カップが同梱されています。

1000mLボトル 蓋が計量カップになっています。どちらの規格も簡単に投与量を量ることができます。



計量カップの写真に
さしかえる

point

3

安心・安全の国内製造

観賞魚用メチレンブルー液は、国内工場で製造しています。国内製造をすることで、皆さまに「安心」と「信頼」をお届けします。

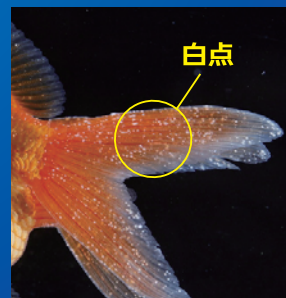
白点病

どんな病気?

肉眼で確認できる白点 (0.5 ~ 1mm 程度) が体表に現れる病気です。白点は寄生虫本体で、魚の体液を吸っています。初期症状では魚がかゆがって体をこすりつけます。白点虫が大量に寄生した魚は、体表の組織が傷つき、浸透圧調節や呼吸ができなくなり、死んでしまいます。

どうして病気になるの?

白点虫 (イクチオフトリウス) という寄生虫が魚の体表に寄生することで発症します。白点虫は体表に張り付いて、1週間程度で体を離れて水中で増殖します。小さな白点虫がほかの魚に寄生し、次々と増えていきます。



販売元



日本動物薬品株式会社
東京都葛飾区西新小岩4丁目37番9号(〒124-0025)

製造販売業者



リケンバツツファーマ株式会社
埼玉県入間郡越生町成瀬829-6

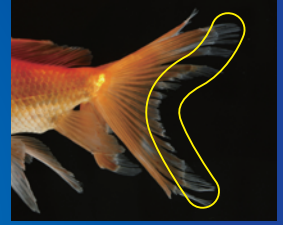
尾ぐされ 症状

どんな病気？

エラ、ヒレ、口などの先端部分が白く濁り、その周囲が充血します。病気が進行すると、白濁が感染部位全体に広がり、消失してしまう病気です。エラに感染すると、呼吸困難で死んでしまいます。

どうして病気になるの？

カラムナリスという細菌(常在菌)が魚に感染すると発病します。細菌がタンパク分解酵素を産出し、ヒレが溶けてしまいます。



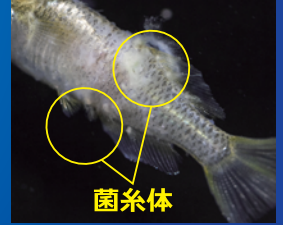
水カビ病

どんな病気？

魚の体表やヒレに綿状の菌糸体が形成されます。患部が炎症を起こし発赤していることもあります。悪化すると、浸透圧調節ができなくなり、死んでしまいます。

どうして病気になるの？

網ズレや魚同士のけんかなどによる外傷、ほかの寄生虫によって傷ついた部位に、サプロレグニアというカビが発育することで発病します。



動物用医薬品

観賞魚用メチレンブルー液

観賞魚用メチレンブルー液は、観賞魚(金魚、錦鯉、淡水性熱帯魚)の白点病、尾ぐされ症状、水カビ病の治療に効果を発揮します。本剤は飼育水を着色しますが、魚に損傷を与えることはありません。薬浴により病原体(寄生虫、細菌、真菌)にメチレンブルーが浸透します。このメチレンブルーに光が当たると活性酸素が発生して、病原体を駆除することができます。薬効を十分に得るためには、薬浴中の水槽は直射日光や強い光をさけ、適度に明るい場所に設置して下さい。

【成分及び分量】

本品 180mL 中

有効成分	含量
メチレンブルー	1g

【効能又は効果】

観賞魚(金魚、錦鯉、淡水性熱帯魚)の白点病、尾ぐされ症状、水カビ病の治療。

【用法及び用量】

通常、本剤 10mL を水約 40~80L の割合に溶解させ薬浴する。尚、短時間反復薬浴には、本剤 10mL を水 3~4L の割合で使用。

【水槽の大きさとお薬量の目安】

規格名	幅×奥行×高さ(cm)	水量	投薬量目安
60cm 水槽	60X30X36	60L	10~15mL
75cm 水槽	75X40X45	120L	20~30mL
90cm 水槽	90X45X45	160L	25~40mL

【貯法】

室温保存、気密容器
直射日光を避けること。

【製品情報お問い合わせ先】

日本動物薬品株式会社
〒124-0025
東京都葛飾区西新小岩 4 丁目 37 番 9 号

【使用上の注意】 (基本的事項)

1. 守らなければならないこと (一般的注意)

- 本剤は、観賞魚(金魚、錦鯉、淡水性熱帯魚)の白点病、尾ぐされ症状及び水カビ病を治療するために使用し、観賞魚(金魚、錦鯉、淡水性熱帯魚)以外の魚又は動物には使用しないこと。
- 本剤は、【効能又は効果】において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤は、正しく使用しなければ病気の治療効果が得られないおそれがあるので、本使用説明書の【用法及び用量】に従って正しく使用すること。
- 期待する治療効果が得られないことや、思わぬ副作用が発生するおそれがあるので、本剤には他の薬品を加えて使用しないこと。

(使用者に対する注意)

- 本剤を使用する際は、防護メガネ、マスク、手袋等を着用し、眼や皮膚に付着しないように注意すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 本剤は、小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤は、直射日光、高温及び多湿を避けて保管すること。
- 本剤の色に異常が認められた場合には使用しないこと。
- 本剤はよく振り混ぜてから使用すること。
- 魚に本剤が直接触れないように希釈すること。また、薬浴槽の薬剤は、均一になるようによく混ぜてから使用すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、本剤を他の容器に入れかえないこと。
- 本剤使用中にろ過器を使用すると効果が低減するため、薬浴中はエアーを使用すること。
- 使用済みの空容器等は地方公共団体の条例等に従い適切に処分し、他に流用または転用しないこと。
- 本剤は水草や藻に対する毒性があるので、本剤を廃棄する場合には、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体の条例等に従い適切に処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- 本剤が眼に入った場合には、直ちに水でよく洗い流し、医師の診察を受けること。
- 本剤の使用後、または本剤が使用者の皮膚等に付着したときは、石けん等でよく洗い、水で十分うがいをすること。

(取扱い上の注意)

- 本剤を数回に分けて使用する場合には、速やかに使用すること。
- 水草は本剤により枯れる恐れがあるので、薬浴槽には入れないこと。
- 本剤使用後、水槽コーナー部分及びアクセサリ類に液色が残ることがあるので、了承の上使用すること。